

しんじょう市議会だより

No.130
2015.11.25

平成27年度一般会計は5,772万7千円を追加し、

総額

156億8,061万6千円に決定

本会議の審議から

平成27年度新庄市議会定例会（9月定例会）は、市長選挙により例年より遅く開催され、9月30日から10月14日までの15日間の会期で開かれました。

さて、9月定例会に市長から出された案件は、

①一般財団法人新庄市体育協会の経営状況の報告についてなどの報告3件

②新庄市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

③市道路線の認定について

④平成26年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど9件

⑤平成27年度新庄市一般会計補正予算など6件

加えて、議員よりTPP交渉に関する情報開示と万全な国内対策を求める意見書の提出についての議案案他2件が提出され合計で23件でした。慎重審議の結果、3件了承、11件可決9件を、原案のとおり、承認しました。一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれに5,772万7千円を追加し、総額156億8,061万6千円となりました。

一般会計補正予算

本会議初日に歳入歳出それぞれ5,772万7千円が追加計上されました。

補正内容の主なものは次のとおりです。

総務費

◎マイナンバー制度に係る個人番号カード関連事務に係る経費を新規に計上。

衛生費

◎斎場「新庄・最上さくらが丘斎苑」の火葬炉の計画修繕などの経費の増額。

農林水産業費

◎多面的機能支払交付金（水路、農道、ため池および法面等、農業を支える共用の設備を維持管理するための地域の共同作業に支払われる交付金）の増額。

土木費

◎まちづくり会議など、地域市民から相談があった道路、側溝、流雪溝等の安全対策のための修繕費等の増額。
◎公園管理や、市営住宅修繕に係る経費の増額。

◎平成27年4月に除排雪対応した分

9月定例会の経過

9月30日（火）開会
10月1日（木）本会議（一般質問4名）
2日（金）本会議（一般質問2名）
3日（土）休会
4日（日）休会
5日（月）常任委員会（産業厚生）
6日（火）常任委員会（総務文教）
7日（水）決算特別委員会
8日（木）決算特別委員会
9日（金）休会
10日（土）休会
11日（日）休会
12日（月）休会
13日（火）休会
14日（水）最終日

の経費の増額。

◎この冬の雪対策として、予め水上がり解消のための対策を行うための経費の増額。

教育費

◎日新小学校の融雪施設を中心とした修繕。

◎新庄小学校給食室付近の外構工事。

◎市民プラザのトイレの洋式化。

◎図書館の防犯監視カメラ設置。

◎市民文化会館の除雪機械の購入費用。

◎わくわく新庄の給湯室ガステーブル設置の経費。

最終日に審査を行った結果、全員異議なく可決しました。

9月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第14号	一般財団法人新庄市体育協会の経営状況の報告について	了承
	第15号	新庄土地開発公社の経営状況の報告について	了承
	第16号	平成26年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	了承
議案	第50号	新庄市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第51号	市道路線の認定について	可決
	第52号	平成26年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第53号	平成26年度新庄市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第54号	平成26年度新庄市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第55号	平成26年度新庄市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第56号	平成26年度新庄市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第57号	平成26年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定

	第58号	平成26年度新庄市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第59号	平成26年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第60号	平成26年度新庄市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決・認定
	第61号	平成27年度新庄市一般会計補正予算(第2号)	可決
	第62号	平成27年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第63号	平成27年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第64号	平成27年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第65号	平成27年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第66号	平成27年度新庄市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
【議会提出】			
議案	第5号	新庄市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	第6号	新庄市農業委員会委員の推薦について	可決
	第7号	T P P 交渉に関する情報開示と万全な国内対策を求める意見書の提出について	可決

議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。
○ → 賛成 ● → 反対

	会 派 名	起新の会			市明・公明クラブ			穆清会			絆の会			会派に属さない議員			採 決 結 果			
議案等 番 号		佐藤 義一	石川 正志	小嶋 富弥	小野 周一	山科 正仁	佐藤 卓也	高橋 富美子	下山 准一	小関 淳	遠藤 敏信	奥山 省三	森 儀一	今田 浩徳	清水 清秋	新田 道尋		佐藤 悦子	叶内 恵子	星川 豊
議 案 第50号	新庄市手数料条例の一部を改正する 条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可 決
議 案 第52号	平成26年度新庄市一般会計歳入歳 出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認 定
議 案 第53号	平成26年度新庄市国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認 定
議 案 第59号	平成26年度新庄市後期高齢者医療事業 特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認 定
請 願 第 3 号	「平和安全法制」法案の徹底審議を 求める意見書の請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	●	●	不採択
請 願 第 4 号	「平和安全法制」法案の廃案を求め る意見書の請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	●	不採択

※議長は採決に参加しません。

※原案のとおり採決することについての賛否を諮っています。(新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則)

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
「平和安全法制」法案の徹底審議を求める意見書の請願	山形県新庄市北町5番19号 石田 千與三	佐藤 悦子	不採択
「平和安全法制」法案の廃案を求める意見書の請願	山形県新庄市松本609番地の5 佐藤 忠志	佐藤 悦子	不採択

農業委員

新庄市十日町794番地の1

佐藤 義一

人事案件

最終日に議会より推薦され、可決した委員を紹介いたします。

決算を認定

決算特別委員会の審査から

一般会計

歳入

収入未済額について

Q. 保育所入所負担金で27件の未納（徴収漏れ）があるが、滞納者はどのような傾向があるのか。

A. 所得税課税世帯の最も低い層及び住民税課税世帯の第二階層が顕著であり、低所得者層よりやや上の世帯層の滞納が多い傾向にあります。

Q. 固定資産税・都市計画税の未納が増えているが、その原因は何か。

A. 景気が回復基調と言われる中、その波及効果を得られない方も多いのではないかと考えられます。また固定資産税等は個人所得の多寡に関わらず発生するということもあるかと思えます。

国庫負担金について

Q. 地方単独医療費助成及び子供の医療費無料化に伴い、国庫負担金はいくら減額されたか。

A. 地方単独医療費助成全体におい

ては、負担金では、1,120万円、交付金では3,490万円が医療費助成での波及増カットで減額されます。また、子供の医療費無料化においては、負担金では、平成26年12月から27年2月診療の3カ月分で約26万円、1年分で約104万円、交付金は平成27年度からしか影響は出ませんが、322万円ほどになるかと思われます。

遊休市有地

Q. 遊休市有地を売却し、財源の確保を図ったとあるが、どれほどあるのか伺いたい。

A. 売却可能な用地はほとんど売却しています。残っている一定規模の用地は谷地小屋の西部運動広場と仁間の旧衛生処理場跡地の2ヶ所です。

歳出

健康増進事業費

Q. がん検診の受診率が非常に低い。今後の取組みは。

A. 健康講演会や出前講座等PRしているが、今後健康マイレージなどの制度を取り入れ受診率向上に向けて取り組んで参ります。

亀綾織伝承協会運営事業費補助金

Q. 亀綾織伝承協会運営事業費補助金の事業内容について

A. 駅前通りの機織り長屋の運営事業費です。亀綾織の伝承技術を守り、後継者の育成に活用しています。

老人福祉費

Q. やすらぎ電話の設置件数が少ない気がするが、どのように周知されているのか。

A. 利用状況が少なく感じております。民生委員や区長さん方から手伝っていただき、いろいろな対策を考えて参ります。

Q. 地域あるいは会の事業として、敬老会を実施している婦人会へ支援ができないか。

A. 敬老会は15地区で実施され855人の参加がございました。社会福祉協議会を通じて参加者一人当たり800円弱の助成を行っております。

奨励費

Q. 小中学生の東北・全国大会に出場者への負担軽減のための補助金額の設定について

A. 子供達がさまざまな場面で活躍する機会が多くなったため、年々増

注釈1：健康マイレージ
健康づくりメニューを行った市民が特典を受けられる制度

平成26年度

一般会計 特別会計 水道事業会計

額しています。交通費を含め、子どもたちの出場人数や開催場所を鑑み研究していきます。

地域循環型生ゴミ収集・堆肥製造事業費

Q. 堆肥活用によって育てられた野菜等が食育教育にどう生かされているのか。

A. 市では平成26年3月に「新庄市食育地産地消推進計画」を策定し、それをもとに小・中各学年に応じた食育・地産地消についての学習を行っています。地域の食文化・郷土食について等を紹介し、心・体・行いづくりの三点に取り組んでいるところです。

グリーンツーリズム推進協議会負担金

Q. 先進地視察を行い、民宿開業に向けて研修を重ねたとのことだが、現状と今後の取り組みの方向性は。

A. 成果ありとはまだ言えません。当市の地理的条件を考え、農業体験等の分野にとらわれずに、広い範囲での交流を通じ活性化したいと考えております。

児童行政事務費

Q. 第3子以降の児童保育料免除を検討しているか。

A. 平成25年度に本市が先行して始めましたが、現在は各市が追隨して行っており、拡充の方向で検討しているところです。

空き家状況

Q. 空き家状況の把握はできているようだが、倒壊や道路ふさぎ等、危険空き家の対策は大丈夫なのか。

A. 近隣に所有者等が住んでいる場合はすみやかに連絡をとり対応しております。遠隔地の方へは即座の対応が困難なため、指導書の送付や電話での対応を行っております。

農業振興費

Q. そばまつりの開催は、新庄産そば需要拡大にどう効果を及ぼしているのか。又、市外からの参加者数の動向はどうなっているのか。

A. 「玄そばどころ新庄」、「おいしいそばどころ新庄」の二面性でPRしています。製粉会社を招待するなどして得意先の確保に努めています。年々客足が伸びており、庄内、仙台、山形、秋田等に広がりが出てきていると理解しています。

障がい者福祉費

Q. 障がい者世帯冬期生活支援事業は自力での除雪が困難な方たちへの支援ととらえるが、前年度と比べ、

どう推移しているか。

A. 心身障がい者世帯の雪下ろし支援は、平成25年度の4世帯から11世帯、玄関前除雪は1世帯から15世帯へと増えています。さらに、高齢者世帯への支援についても、件数・金額ともに増加しています。

観光費

Q. 新庄まつりポスター制作業務委託料約79万円とあるが、ポスターの枚数と設置方法はどのようなものか。

A. 1,800枚を製作し、JR各支店及び駅用として400枚を配り、残り1,400枚については重点地域、仙台をはじめとして首都圏あたりまで、旅行会社等を含めて配布し、PRに努めています。

税はみんなのもの
大切に
使うべきじゃ



一般質問

一般質問は、10月1日と2日の2日間、6名の議員が行いました。

質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

9月定例会一般質問の質問者と質問事項

小嶋 富 弥

1. 市長3期目の当選にあたって
2. 新庄まつりについて
3. 学校教育と子育て支援について

小 関 淳

1. ふるさと納税の現状と今後の方針について
2. 市立図書館の現状と今後の方向性について

佐 藤 悦 子

1. 生徒一人一人を大切にした教育について
2. 市の公的職場における雇用拡大・安定化について

佐 藤 卓 也

1. 3期目の市政運営について
2. 学校の改修・改築について
3. 道徳教育について
4. ライフスキル教育について

高 橋 富美子

1. 有権者の投票率向上の取り組みについて
2. 高齢者のボランティアポイント制度の推進について
3. 障がい者支援について
4. 市民の利便性向上について

叶 内 恵 子

1. 中小企業振興条例について



小嶋 富 弥 議員

さらに市民に寄り添った市役所を

◎子育て支援の環境整備について、わらすこ広場の遊具のリニューアルと、子育てに励む保護者の交流と情報交換の場としての拡充はどの様に考えているのでしょうか。

市長 遊具については、随時知育玩具等、平成24年度には小規模遊具の追加を行っています。今年度は国の補正予算において新たな遊具を整備することとなり、その準備を進めているところです。また、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用しての情報発信事業の準備を進めており、各種子育て支援施策の事業内容等の周知や子育てサークル等の団体同士の関係強化が図られるよう努めていきたいと考えています。今後も、新庄・最上地域の子育て支援のシンボリックな施設

として、利用者の方々から親しまれるよう事業を推進してまいります。

◎児童（小学生）の放課後、自転車に乗る時のヘルメット使用・着用について、教育委員会ではどのような手立て、対応をなされているでしょうかお伺いします。

教育長 道路交通法改正により、幼児及び13歳未満の児童に対する着用努力義務が施行されたことにより、転倒時の頭部保護から各学校でも着用について保護者への呼びかけを行っています。学校だよりで着用を呼びかけたり、PTA活動に位置付けたりしながらヘルメット着用について取り組んでいます。着用率については、自転車に乗る児童全てがヘルメットを着用する学校もあるなど市内の小学校の着用率は高くなっています。教育委員会としても、いのちを守るヘルメット着用の運動が推進されるよう学校を支援してまいります。



注釈2：ソーシャル・ネットワーキング・サービス
人と人のつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイト



小 関 淳 議員

市民の暮らしを少しでも豊かにするために

◎「ふるさと納税制度」は、市民サービス向上に大きく貢献できる可能性がある。昨年度の寄付額は市が2,548万円、最上町は2億4千万円と、大きな差がある。このことをどう捉え、今後どうするののか。

市長 平成26年12月よりインターネットでの受付を開始。今年の4月からクレジットカード払いを導入したことにより寄付額が大きく伸び、今年度は3ヶ月で前年度一年間の寄付実績を超えています。寄付金額・件数ともに県内の他市町村と比べて差があるのも事実です。今後は、この制度を通して地元産品の一層の振興はもとより、新庄市や市の特産品の魅力をより伝えられるような方策を講じてまいります。



◎市立図書館は最上の中心市にある唯一の施設である。しかし、手狭であり、駐車スペースは10台ほどしかなく現状の運営には限界がある。このままでいいののか。

教育長 図書館の駐車場は、障害者の駐車スペースを含めると13台と少なく、広げることはできない状況であるため、近隣の生涯学習施設の駐車場に空きスペースがあれば利用できるよう調整を図っているところです。また、図書館以外で図書館の本が手に取れるように、市内の施設において移動図書館を実施しており、その場で貸し出しも行っています。今後とも、指定管理者と協議しながら気軽に利用できる図書館となるようさまざまな工夫を行っていきたいと考えています。

学校統廃合ではない沼田小改築を



佐 藤 悦 子 議員

◎小中一貫校は、学校統廃合のためのもので、小学校高学年としての活動が保障できない。教師の多忙化に拍車がかかる。沼田小は、単独で早期改築すべきではないか。

教育長 小中一貫教育については、9年間の教育課程の中で子どもをよりよく育てるための手立てとして全国各地の自治体で取り組まれています。特に子どもの発達に2年ほど早まっていると言われ、思春期における様々な課題への対応や豊かな心づくりに効果があるとされています。沼田小学校については築50年が過ぎていることから、早急に校舎改築を進めなければならぬものと考えており、地域や保護者の方のご意見をいただきながら、市が進める小中一貫教育が実現できる学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

◎障がい者の福祉タクシー券は、県内で最低の支給ではないか。80歳以上のタクシー券を復活させ、福祉灯油も充実すべきだ。増税と年金引き下げに苦しむ市民にあたかな福祉を。

市長 80歳以上へのタクシー券補助については、高齢者の足の確保という観点から市内交通網の整備も課題と捉えており、他の自治体の取り組みを研究する必要があると思われます。福祉灯油については今年度も実施する方向で考えていますが、今冬の灯油価格の動向を見極め助成金額を決定したいと思っています。福祉サービスの拡大や復活等は、今後益々進む高齢化社会への喫緊の課題として捉えています。当面は現在の制度を維持していきたいと考えております。



学校教育の更なる充実を!!

◎耐震化の終えた学校や体育館の今後の改修や改築について今後どのように取り組まれていけるのですか。

教育長 今後の学校施設の整備については、市の教育の柱に小中一貫教育を提えていることから、各中学校区において小中一貫教育校として整備することを基本として進めていきたいと考えています。小中一貫教育校は法的に来年度から施行を予定している「義務教育学校」との名称になります。この義務教育学校としての施設整備は建設計画から開校までに長い時間を要することや相当額の財政的負担を伴うことから財政負担の平準化を図り、各学校区での学校保護者、地域の皆さんのご意見をいただきながら今後の計画を立てなければならないと



佐藤 卓也 議員



考えております。

◎学校ではどのように道徳教育を考え、指導しているのか、また、市立図書館や学校図書館などの図書数を拡充していけるのか伺います。

教育長 道徳教育については、市の教育で大切にしている「こころの教育」に不可欠なものと考え、各学校では授業はもちろんのこと、全ての教育活動を通じて取り組んでいます。また、学校以外の場合でも家庭や地域と連携したり、異校種間の連携を図ったりしながら、学校や地域の特色に応じた取組を行っています。教育委員会でも今年度から道徳の教科化を見通して道徳教育を学ぶ研修会を立ち上げ全小中学校で研修を深めてもらっているところです。図書の拡充については、各学校の実態に応じて希望図書を入れていきますので、各学校の希望調査を優先して配本していきたいと考えています。

市民の利便性向上へ



高橋 富美子 議員

◎市民生活に役立つ情報を掲載した、新庄市ガイドしんじょう「くらしの便利帳」は発行から4年が経過しており内容の変更もあることから、今後の発行予定について伺いたします。

市長 便利帳発行に際しての一連の経費は製作会社が地元企業から広告を募ることで確保する仕組みとなっていますが、広告料確保の難しさ等から、発行はしておらず、今後の発行予定もございません。しかしながら、現在も問い合わせがあり、民間情報も含めた資料として重宝である事も認識しております。このためホームページへの民間情報掲載の可否やルールを研究しながら実現できないか検討しているところです。あわせて、広報紙などの紙媒体の活用も

研究したいと考えております。

◎本市における障がい者の方の相談窓口の現状、体制についてと特別支援学校卒業後の就労についての取り組みをどの様にされているのか伺いたします。

市長 障害に関する各種相談については、市の窓口、「相談支援センター」の運営を行う事業所のほか市内各所に相談窓口を設置し、障がい者の地域生活を支援する取り組みが行われています。学校卒業後の就労についてですが、特別支援学校の卒業後においては障がい者の個々のニーズや特性に応じて、新庄市や障がい者就業・生活支援センター及び公共職業安定所などの関係機関と連携し、就労や生活に関する相談や支援を行っている状況です。





叶内恵子 議員

中小企業振興条例により理念の旗を打ちたて経済活性化を願う

◎平成22年6月中小企業憲章の閣議決定以降地域経済活性化のために中小企業振興条例を制定する自治体が増えているが、新庄市にある企業を支援し地域活性化のために振興条例策定が必要と考えるが、市としての考えを伺います。

市長 市は本年2月に新庄最上定住自立圏構想のもと中心市宣言を行いました。その中で、産業振興として経済の活性化と雇用機会の確保を図るため、圏域一体で企業誘致、広域的な観光、物産振興、6次産業の推進などに連携して取り組むこととしています。また3月には県が中心となつて「最上地域ものづくり産業振興プラン」を策定し、地域産業の発展に取り組んでいます。このような取り組みの中で中小企業憲章の理念にそつ



た事業を展開していこうと考えておりますので、条例については検討させていただきたいと思っています。



もうじき、
冬將軍の到来じゃ
しっかり冬支度を
せんとのー

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会委員長

佐藤 義一

当常任委員会は、8月4～5日に岩手県山田町の農村漁村地域振興基金整備事業の取り組みと、北上市の企業誘立地への取り組みを視察させてもらいました。

山田町においては、5地区18haの基金整備事業費21億1,600万円を国負担77.5%、県負担21.5%、町負担1%で、また、機械を流失した農家の経営再開を支援する事業として1億9,085万円を国負担75%、町負担25%（町負担分は、震災復興特別交付税で手当てされる）でミニライスセンターや農業機械の購入、共用をしており、震災により死者676名もの犠牲者を出しながらも立ち上がり、復興を目指す力強さを感じさせられました。

また、北上市においては、281社の誘致企業を数え東北にも類を見ない工業、流通団地が形成されています。これは先人が北上市の将来を見据え、農業と商工業のバランスのとれた振興を目指した結果、他地域に就職するしかなかった農家の次男

常任委員会視察報告

三男の流出を少なくし、また、兼業農家の後継者育成に大きく寄与しました。

ただ、企業を誘致することだけに留まらず、産学官の連携の下、最先端の技術導入にも、技術者育成にも力を注ぎ、若い世代の地元定着に大きく貢献いたしております。平成24、25、26年の地元就職率100%であり、若年層が多いことから三次産業が伸びていることは駅前林立するホテルが多いことから伺えます。

人口減少が我が新庄市でも心配されるなか学ぶところの多い視察でありました。



行政視察報告

起新の会

1. 視察日程

平成27年 7月13日(月)

～15日(水)

2. 調査事項(視察先)

(1) 生活保護自立支援プログラム
(北海道釧路市)

(2) 若年層の安定化を図る施策について(北海道根室市)

(3) 道の駅 摩周温泉(北海道弟子屈町)

3. 視察参加議員(議席順)

石川 正志 小嶋 富弥

佐藤 義一(代表)

■所 感

「生活保護受給母子世帯

自立支援モデル事業」

「自尊心の回復」を大きな柱に据え平成16年から26年度まで生活保護自立支援事業を展開してきた釧路市を訪ね、視察を行いました。新庄市においても、稼働年齢でありながら生活保護受給者となってしまうという割合が21%と大きく年々増加傾向にあります。釧路市において平成



15年当時、生活保護の母子世帯の割合は20%を超え、深刻な状況にありました。介護保険法の改正に伴い、ヘルパーが訪問介護の際、同行訪問という形で、関係機関と連携を取りながら彼女たちに就労の機会を与えるという事業内容でした。なお、就労時間中、子供は無料の一時保育に預けることができ、安心して就労できる環境も提供し、26名の方が自立する事ができ、内、18名の方が介護の資格を取り現在に至っています。

穆清会

1. 視察日程

平成27年7月23日(木)

～24日(金)

2. 調査事項(視察先)

(1) 若者の定住促進策(宮城県栗原市)

(2) 地方議会議員セミナー(宮城県仙台台市)

3. 視察参加議員(議席順)

小関 淳(代表)

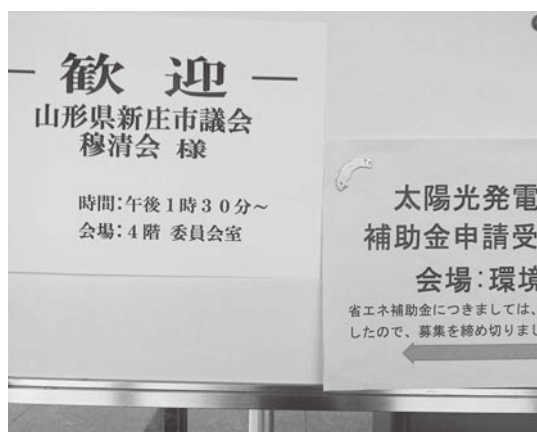
遠藤 敏信 奥山 省三

■所 感

「若者の定住促進策」

全国の地方同様、わが市も人口減少の勢いが加速している。このような状況下、栗原市では、積極的な若者の定住促進策を進めている。平成25年からの総合計画には「新たな7つの成長戦略」を掲げ、計画実現のために市の部署にも「成長戦略室」を設けている。その戦略室を核として各課との連携を図り、新たに定住促進の土台となる主要な施策や事業を充実させている。

移住促進、転出抑制策の具体的な事業として「くりはら婚活プランナー認定事業」「婚活促進事業費助成事業」「婚活イベント実施事業」、



「新婚生活応援家賃助成事業」、「住まいる栗原ホームサーチ事業」、「空き家リフォーム助成事業」、「若者定住促進助成事業」、「住まいる栗原シェアリングタウン事業」などを積極的に進めており、より有効な定住化策を目指し、庁内一体となり積極的に取り組む姿勢に好感を覚えた。

「地方議会議員セミナー」
現在、議会改革推進中である新庄市議会の一員として、さらに前進するため、「一般質問の役割と効果的な手法」「地域活性化のための議会の役割」「議員提案政策条例のポイント」などについて、元衆議院法制局参事である吉田利宏氏から講義を受けた。

極めて有意義な講義内容でした。

市民・公明クラブ

1. 視察日程

平成27年7月29日（水）
～31日（金）

2. 調査事項（視察先）

- (1) こどものまち推進事業について（沖縄県沖縄市）
- (2) 沖縄こどもの国 JAちやんぷるー市場（沖縄県沖縄市）
- (3) 道の駅嘉手納 沖縄県公設市場（沖縄県嘉手納町）

3. 視察参加議員（議席順）

山科 正仁 佐藤 卓也
小野 周一（代表）
高橋富美子 下山 准一

■所 感

沖縄市は毎年1000人の人口が増えている市であり、子どもの誕生から学童期を一貫してサポートするために「こどものまち推進部」を配置し、「こどものまち推進アクションプログラム」「沖縄こどもの国」「こどものまち宣言」「こども議会」など子どもの声を活かした多くの政策を進めております。きっかけは年少人口が全国で1位になったことから「こどもが宝」の考え方から展開していますが、新庄市においても人口減少が課題であり、もっと子ども

施策を充実し、子どもが生みやすく、育てやすい環境を整備する必要があると感じました。

また、今年は戦後70年となる節目の年、最後の激戦地となった沖縄県に山形県出身者約4万人が眠る「山形の塔」や世界平和のメッカとしての「沖縄平和祈念塔」、沖縄戦などで亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ記念碑「平和の礎」など見学し、戦争の悲惨さを肌で感じ改めて恒久平和の大切さを感じました。



絆の会

1. 視察日程

平成27年10月19日（月）
～20日（火）

2. 調査事項（視察先）

- (1) 定住自立圏構想協定締結に向けて中心市の役割（埼玉県秩父市）
- (2) 町村との関係構築と圏域の将来像を考える（埼玉県小鹿野町）
- (3) 進化する道の駅の体験（群馬県川場村）

3. 視察参加議員（議席順）

今田 浩徳 清水 清秋
新田 道尋 森 儀一（代表）

■所 感

今回の視察では、本市でもスタートした定住自立圏構想をより深く知ることができました。地域の差はありましたが圏域に暮らす皆さんを第一に思いその中で良い方向に導けるよう市町が討議を重ね、協定項目を策定し実施。必要度、満足度を持ち合って精査し継続が見直しかを判断し、同等の立場で腹を割り損得抜きで意見交換ができるのが先進地の例であると思いました。新庄最上定住自立圏構想も市民、圏域民の付託に

応えられるように協定を結んで行かなければと感じます。

また、道の駅ゆとりプラザ川場は、「わざわざ訪ねたい所をコンセプト」に「飲食する、体験する、泊まる、買うことが出来る」という、老若男女全てのニーズに応えられる施設として国土交通省の認定を受けています。百聞は一見にしかずで訪ねてみてその素晴らしさに感服しました。今後新庄市の振興策の一つとして、この経験を反映できるよう研鑽したいと思います。



本会議の様様をインターネットで 中継しております。

新庄市議会では、「市民に開かれた議会」をめざし、本会議の様様をインターネットにより中継しています。

議会へ傍聴にお越しになれない市民の皆さんのため、自宅等にしながら議会の生中継及び録画中継をご覧になることができるようになりました。

録画中継についてはいつでも見ることがのできる、市ホームページの議会のサイトにアクセスしてください。



議会を傍聴しませんか

—市民の皆さんの意見が反映されていますか—

どなたでも議会の傍聴することができます。当日直接議会事務局にお越しください。受付簿に住所・氏名を記入していただく他は、面倒な手続きはありません。(傍聴席に限りがありますので、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。)

表紙写真を募集します

1. 募集内容

新庄市の行事や風景等で、必ず人物が写っている写真作品。

2. 応募規定

写真は次の①～⑤全てに該当するもので、各時期の議会日よりつき1人2点まで応募できるものとします。

- ①応募者本人が新庄市内において撮影したもの。
- ②他の媒体などに応募していないもの(未発表のもの)。
- ③メールやUSB等のデータ(JPEG形式)で提供できるもの。
- ④写真に写っている人物の許可を得ているもの。
- ⑤A4縦の表紙にサイズがあうもの。

※詳しくは、HPをご覧ください。

10月下旬に新潟県三条市で開催された全国小中一貫教育研修大会に参加してきました。おりしも当市では萩野学園開校を契機に、中学校区ごとに小中一貫教育が確立される方向にあります。将来この地を支える「新庄っ子」が活躍できる環境をつくるために、私たち市民が知恵を出し合ってよりよい地域づくりをしていかなければと感じています。

「地元新庄」地域を誇れる「新庄っ子」づくりに邁進したいと思います。

議会報編集副委員長 今田 浩徳

あとがき



秋にひろう

晴天好日 10/中ごろ

味覚まつりオープニング
(中部保育所園児) 10/17



市総合防災訓練から
(日新小グラウンド) 10/18

第6回新庄そばまつり
(今年も大盛況でした) 11/01



議員研修会 11/11

三浦友加さん

(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー



「高齢化社会における地域医療のあり方」というテーマで医療法人土田医院の土田秀也先生に講演していただきました。

12月定例会の予定

12月4日(金)	開会
5日(土)	休会
6日(日)	休会
7日(月)	一般質問
8日(火)	一般質問
9日(水)	常任委員会
10日(木)	常任委員会
11日(金)	休会
12日(土)	休会
13日(日)	休会
14日(月)	休会
15日(火)	最終日
11月24日(火)までとな って います。	
※一般質問者数により若干日程が 変わります。	